

# 封鎖の野底林道が復旧

## 県農林水産土木建設会石垣地区 記録的大雨で土砂崩れ

(一社) 沖縄県農林水産土木建設会石垣地区(砂川健地区長)は6月30日午前、土砂崩れで封鎖されていた野底林道の災害復旧ボランティアを行った。この作業で、同林道の封鎖は同日午後全面解除された。

同会は石垣市と農林水産施設の災害時の応急対策を行う協定を結んでいる。こ

としは当初、ダムの上砂処理作業を検討していたが、6月8日から10日にかけて記録した大雨により野底林道で中規模な土砂崩れが発生し、道路が封鎖。砂川会長がそのことを新聞報道で知り、急ぎよ予定を変更し、災害復旧工事のボランティアを市に申し出た。同日は地区の会員20社か

ら約25人が参加し、午前9時から正午にかけて作業を行った。ユンボとホイールローダーの重機で壁面を削り、約50分の土砂を撤去。また、周辺道路の草刈りや側溝にたまった草木を取り除くなど作業に汗を流した。作業終了後、市農政経済課が安全を確認し、封鎖を全面解除した。



重機で土砂を撤去する県農林水産土木建設会石垣地区の会員ら  
= 6月30日午前、野底林道

た。これで安全に車が通れる」と安堵し「これから災害がないことを祈るが、市から要請があれば協力して作業していきたい」と笑顔を見せた。

砂川地区長は「マーペーにつながる野底林道は観光客など多くの人が通る。いやな思いをする人が出ないよう早く元通りにしたかつ